

Cyvision 有限会社サイビジョン

HazardTouch ハザードタッチ®



お手持ちの画像（ドラレコ動画・デジカメ映像など）からiPad の危険予測教材を作成します



危険予測学習アプリの決定版

Hazardouch は交通危険予測の教育アプリ*です

*iPad 専用、アプリのご利用は無料です（教材の作成・管理は有料となります）

危険を予測する場で「注意するところ」をタッチします

3～10場面程度の問題をまとめた「教材」を作成して、これを無償アプリ「HazardTouch / ハザードタッチ®」をインストールした iPad から利用します。問題場面の前後には状況をわかりやすくするために動画も表示できます。

貴社独自の教材を作成します → ご相談ください

ドラレコ映像や写真などの御社素材から **無料**で教材を作成します。
（無料作成は3場面以内、ご依頼の状況によりお時間をいただく場合があります。）

1

小集団KYTにも

ドライバー各自の自習用としても、小集団でのKYTにも好適です。

2

オフライン利用可

ネット利用できる場所でシナリオは自動的にダウンロードされます。

3

結果の管理

管理用サイトをご利用いただくことで個別の結果が確認できます。



※ ドラレコ記録から実際の事故やヒヤリハット場面の動画から教材が作れます。



※ デジカメ映像から事故が発生しやすい場所を撮影した画像から教材を作成することができます。



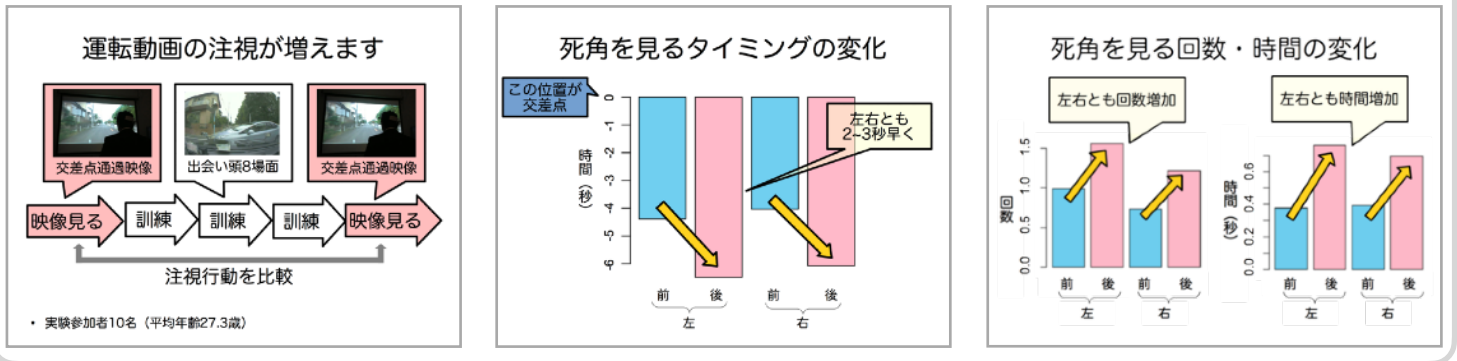
※ お手持ちの教材からご利用中の危険予測教材の画像素材も教材が作れます。



■ HazardTouch は学習効果について多くの研究成果があります

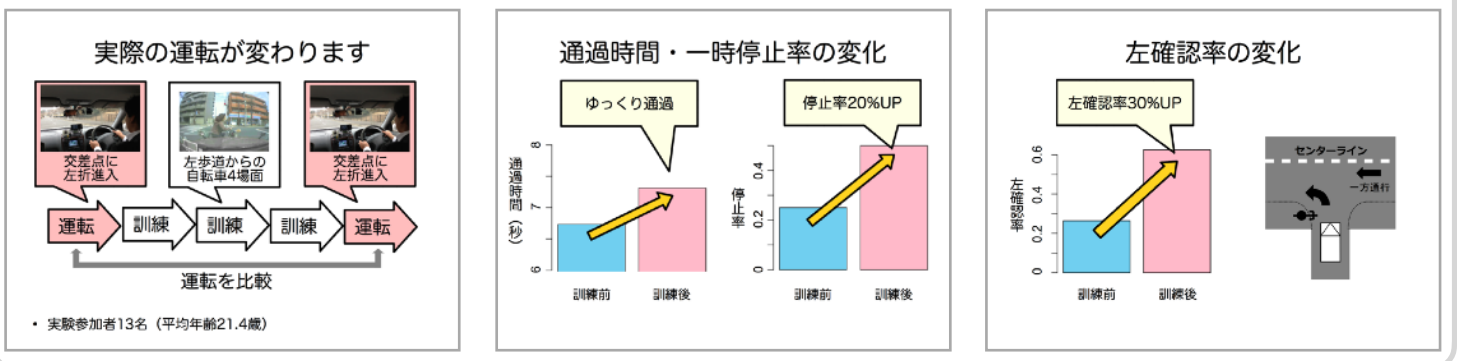
効果の評価 ①：運転動画を見た時の注視行動が変わりました

出典：伊藤輔・島崎敢・中村愛・三品誠・石田敏郎 2013 事故映像とHazardTouchを用いた危険予測訓練による注視行動の変化，日本交通心理学会第78回大会講演集。



効果の評価 ②：実際の運転が変わりました

出典：中村愛・島崎敢・伊藤輔・三品誠・石田敏郎 2012 事故映像とHazardTouchを用いた危険予測訓練による運転行動の改善効果，日本人間工学会関東支部第42回大会講演集，110-111。



■ オリジナル教材製作の流れ

映像素材のご用意

ドラレコに記録された事故やヒヤリハット映像、デジカメで撮影した静止画、既存の映像教材などがご利用いただけます。

* 新規撮影についてはご相談ください。

HazardTouch 教材作成 (弊社)

教材に適した場面を選び、注意しなければいけないところをいくつか正解として選び、簡単なコメントを付けます。また動画素材の場合には問題場面の前後に状況をわかりやすくするための動画を付けます。

教材配信

教材をご確認いただけましたら、教材を「配信」する設定をいたします。「端末登録」画面でご登録いただきました iPad に自動的に教材がダウンロードされ、HazardTouch アプリからご利用いただけます。

ご提供元

有限会社サイビジョン

担当：三品（みしな）
mmish@cyvision.jp
https://w.cyvision.jp

Phone : 03-5758-6115
Mobile : 080-3490-5951